

卓球部 活動報告

東京都立工業高等学校生徒スポーツ大会 第24回卓球競技大会 学校対抗の部

祝 優勝 !!

2月10日(土)に東京都立高等学校生徒スポーツ大会第24回卓球競技大会の学校対抗の部に出場しました。この大会は通称工業大会と呼ばれ、工業高校の生徒たちの大きな目標となっています。コロナ禍の影響で数年間実施されていませんでしたが、昨年度より復活しました。多摩工科高校は昨年度の工業大会では結果を出せず、実力不足を痛感させられました。今年度は少しでも多くの白星を掴めるように練習を重ねてきました。

初戦から実力のある府中工科高校との対戦となりました。全員が接戦をものにし、最終的には3-0で勝利することができました。シードの中野工科高校との対戦では、本校の相多選手(機械科1年)がカットマンに苦しめられましたが冷静に相手の回転を見極め、粘り勝ちすることができました。その勢いに乗り、2番手は快勝し、ダブルスでは相多選手と富澤選手(電気科1年)が息の合ったプレーを見せてくれました。途中打ち急いでしまった相多選手に声をかけながら、冷静に対処した富澤選手のプレーが功を奏し、何とか勝利をつかむことができました。結果として、ここも3-0で勝ち進むことができました。決勝戦は優勝候補である田無工科高校との対戦でした。本校の石井選手(デュアルシステム科2年)が田無工科のエースと対戦しました。相手は今大会のシングルス優勝候補だっただけに惜しくも敗れてしまいましたが、石井選手得意のループドライブ(回転量を多くすることで大きい弧線を描く軌道となるドライブ)で翻弄し、相手を台から下げる理想的な展開を作り、チームに勢いを与えてくれました。2番手に相多選手が快勝、ダブルスも相多・富澤ペアがギリギリの戦いを制し、2勝目、4番手の大栗選手(機械科1年)が粒高ラバー(相手の回転を利用して様々な球種を送り出すラバー)と得意のフォアドライブを使い分け、決勝点を決めました。最終的には3-1で田無工科高校に勝利し、優勝することができました。

昨年度のことを考えると今年度の学校対抗の部優勝という結果は快挙といえるでしょう。この結果は選手の頑張りはもちろんですが、周囲で支えてくださっている方々のおかげです。今後も応援をお願いします。



左から

相多 雄仁選手 (機械科1年)

石井 達也選手 (デュアルシステム科2年)

大栗 晴弥選手 (機械科2年)

富澤 修也選手 (電気科1年)